

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【公表番号】特表2008-528250(P2008-528250A)

【公表日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【年通号数】公開・登録公報2008-030

【出願番号】特願2007-551673(P2007-551673)

【国際特許分類】

B 01 J 23/89 (2006.01)

C 01 B 3/38 (2006.01)

H 01 M 8/06 (2006.01)

【F I】

B 01 J 23/89 M

C 01 B 3/38

H 01 M 8/06 G

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月5日(2008.9.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

触媒活性の成分としてルテニウム、ロジウム、ニッケル、及びコバルトからなる群から選択される少なくとも1種の元素、及び炭素ベースの担体材料を含む触媒活性組成物の一酸化炭素の選択メタン化のための使用方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

前記触媒活性の成分及び／又は前記担体材料に、  
鉄、ニオビウム、マンガン、モリブデン、及びジルコニアからなる群から選択される  
少なくとも1種の元素を添加したことを特徴とする請求項1に記載の使用方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

広い温度域における一酸化炭素の選択メタン化方法であって、ルテニウム、ロジウム、  
ニッケル及びコバルトからなる群から選択される少なくとも1種の要素を活性成分として  
含む触媒活性成分と、炭素ベースの担体材料と、鉄、ニオビウム、マンガン、モリブデン、及び  
ジルコニアからなる群から選択される少なくとも1種の添加元素と、が使用されたことを特徴とする方法。